

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 24 年 12月 26日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3472501349		
法人名	医療法人社団 光誠会		
事業所名	グループホーム サンハートホーム		
所在地	東広島市福富町久芳3694-12		
自己評価作成日	平成24年12月5日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action=kouhyou_detail_2012_022_kani=true&JigyosyoCd=3472501349-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成24年12月17日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

地域密着型を活かして、地域の方がいつでも気軽に寄れる施設であり、入居者の方の明るい笑顔が絶えず、温かい施設でありたい。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

鄙の郷に理想のホームを創る。この願いを「熱意・真実・真心」の三つの心にまとめてホームの名称に織り込んでいる。運営母体の医療法人（本部・東広島市西条町の歯科診療所）理事長の生まれ育った古里に、報恩と感謝の心、地域貢献の願いを実現させたのがこのホーム。▶町役場の跡地を有効活用して、里山にふさわしく自然と調和した広くゆとりのある設計が特徴。農家の母屋を模した建屋と間取りには、その地で育った人でこそ可能な、風土に即した風習と生活者の知恵を縦横に組み込んでいる。▶母体が医療法人で、医療連携が充実しており、=全身の健康は口腔の健康から=をモットーに口腔体操など口腔ケアを徹底させ、入居者のQOL向上に資し、摂食などの機能の保持と増進に大きな効果を示している。実際に入居者と食事を共にして、旺盛な食欲と食事の速さ、姿勢の良さを実証されている。時勢を捉えた介護・医療連携のモデル的展開として今後の動向が注目される。
--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	個人の意思を尊重し、本人の持つ能力を活かして安心・安全・楽しい生活を考え、カンファレンスの際にも考慮し、実践に向けて、日々取り組んでいる。	理念と事業所の介護方針を事務所内に掲示してその実践を図っている。事業所の名称に織り込まれた「熱意、真実、真心」の三つの心も職員の働きの中に着実に根付き実践されている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	利用者が何時までも、地域との繋がりを持ち続ける為に、地域の行事等には利用者とともに、積極的に参加しながら、接点を持つ努力をしている。	いまも、村里の「講中」（もやい）の風習が残り、共助の気風を活かした地域交流が自然な形で展開されている。夏休みには、地域の人や子どもたちと一緒にホームのロータリーでラジオ体操の実施、保育園児との交流の事例など地域の集いの場となっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	交流の場所等で、会話を通して、ケアの糸口・方法等、介護者の気休めになればと、対話しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	参加者の方の意見等、参考にしサービスの向上にいかしています。	土地柄に即した実効ある会議運営で、家族も交え、地域住民も自分たちのホームとして真剣な討議の様子が議事録から読み取れる。最近では、火災報知機を近隣に聞こえるよう、外向きに取り付けた討議事例がある。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	ケア会議等の参加や、市町担当者に相談や情報収集等、積極的に取り組んでいます。	市の介護保険課、健康長寿課、地域包括支援センターと協力して、社会資源マップ「オレンジマップ」の作成など緊密な連携体制が採られている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>入居者の安全を優先して、やむを得ず、玄関に施錠しているが、家族の了解のもとで、行っている。</p>	<p>入居者の安全を最優先に家族と相互に確認同意を得て、玄関と居室のサッシの施錠など臨機応変に対処されている。徘徊等についても、近隣の協力を得て開放的なケアに取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>言葉の掛け方等、虐待に繋がらないように、入居者の対応に気を付けています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>必要があれば、活用できるように支援します。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>利用者や家族の方に、理解・納得いただくように説明しています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>いつでも、意見・不満・苦情が言えるようにし、苦情窓口も設置しています。</p>	<p>意見、要望、苦情等を誠実に受け止め改善に活かしている。その内容を集約して、法人本部との提言討議を図り利用者満足のケアに結び付けている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月1回、職員会議を開催し、意見・提案を出しています。</p>	<p>管理者は「夜勤をしてこそホームの実態が見える」と、強調。常に職員と同じ目線で動き、定例会議のほか、率先垂範の中から意見・要望を引出している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>勤務態度・介護状況を把握し、声掛け、激励をするようにしている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>講習会等への参加を勧めている。受講後は皆が情報を共有できるように、職員会議等で発表しています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>他のグループホーム・特養への訪問、交流をし、情報収集をしサービスの質の向上の取組みをしている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>本人の困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾け、本人が安心して暮らしていけるように、関係づくりに努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>家族ともよく話し合い、安心していただけるように、関係づくりに努めています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>相談時に、他のサービス利用等の紹介も勧めています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>日々の生活の中で、入居者から学ぶこともあり、感謝の気持ちも伝えています。入居者の尊厳を大切にする言動に注意しています。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>入居者の状況・変化等、常に報告をし、いつでも入居者や、家族が身近に感じられるような関係を築いています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>いつでも、来訪できるように、来客を受け入れています。</p>	<p>近隣の入居者が多く家族、親戚、近所の人など、多くの人が訪れている。外出時に出会った懐かしい人の来訪もあり、里山の温もりのある交流が続いている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	食事の時の座る位置等の配慮をしています。居間・食堂で、できるだけ一緒に過ごしてもらい、入居者同士が交流できるようにしています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	いつでも相談ができやすいように、声を掛けるようにしています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	職員は入居者とのコミュニケーションや、表情・行動から思いや希望・意向を把握するように努めています。	職員も同郷の人がほとんどで、方言を交えた談笑も聞かれ、風土に馴染んだコミュニケーションの中から意見、要望の把握が進められている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	家族や以前、利用されていた事業所等に情報収集をしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	1日2回の申し送り・引き継ぎの際に職員で情報を共有し把握に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>必要に応じ、話し合いを設け、月1回の職員会議で話し合い、介護計画を立てています。</p>	<p>基本的に3ヶ月に1回介護計画を見直しているが、月に1回全職員参加のカンファレンスおよび必要に応じて関係者の意見を集約した見直しの事例もある。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の変化、体調の変化等を記録し、介護計画を立てています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>入居者・家族が希望されたとき、近隣の美容院へ職員が同行したり、訪問により支援を行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>月1回以上のボランティアさんの受け入れを行っており、歌・絵本の読み聞かせ等により、日々の暮らしに変化をつけていただいています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>本人・家族が希望する医療機関・医師に受診できるよう支援しています。</p>	<p>医療法人の強みを発揮した関係医療機関と連携した受診体制が整備されている。とくに、歯科は近隣の法人の診療所が対応し、口腔ケアの効果が利用者の体調保持に顕著に表れている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	受診時、指示を仰いだり、電話で相談したりしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された時、安心して治療に専念できるように、居室を短期利用に使用したり、病院との情報交換や相談に努めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	早い段階から話し合いを設け、関係者全体的な方針を共有し支援に取り組んでいます。	これまで終末期の対応は、1ケース程度。利用者・家族の要望に沿った重度化・終末期対応を第一に、法人の総合的な医療・介護の連携、多職種連携による最善の支援体制で取り組むとしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	救命講習・心肺蘇生法等を受講し、急変に備えています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回、地域住民の参加・協力を得ながら、避難訓練を実施しています。火災訓練や災害対策の講習を受講した後、ホーム内にバケツや、懐中電灯等を設置しています。	近隣住民の協力度も高く、消防署立会の訓練時には、一緒に訓練に参加している。運営推進会議で民生委員より提言のあった火災報知器を近隣にも聞こえるよう戸外に設置した事例など、地域の災害防止への共助、講中の習わしも息づいている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入居者のプライドを大事にし、プライバシーを損なわないよう言葉掛けや対応に注意しています。特に、排泄や失禁の介助の時、他の入居者の目に注意して注意しながら支援しています。	土地訛りの言葉がけが、利用者の心を和ませ、ゆったりと流れる時間と調和している。年長者への言葉がけ、対応は、土地の風土の中で自然に培われた尊厳の「真心」がこもっている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	コミュニケーションを通じ、ゆっくり何度も説明や理解を得るようにしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	1日の時間の流れは、入居者のペースや希望に合わせて、個別ケアをしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	家族と相談し、了解のもとで地域の近隣の美容院を利用しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	職員も一緒に食事を摂り、明るく楽しい食事に心がけ、旬のもの・個々の好みも取り入れるようにしています。	食事前に職員も一緒に「御仏への感謝の言葉」を唱和して、全員で「いただきます」の合掌で食事を開始。これも口腔体操の目的をかねた取り組みで、姿勢保持と誤嚥の予防に効果を現わしている。食欲も旺盛で、自立した食事の場が観察された。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。	食事や水分の摂取量は確認し、記録に残しています。入居者一人一人の体調や習慣に応じて、トロミをつけたり、刻んだり、小さくほぐしたりして食べ易さを工夫しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	一人一人の方の状態に合わせ、口腔ケアの介助、声掛け、見守りを食事摂取後、行い、チェックシートに記入しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	利用者の状態に応じて、時間やしぐさを見て、トイレ誘導をしています。	各入居者の居室のトイレに定期的に誘導のほか、姿勢、動き、表情から察知して職員間のサインでトイレ誘導をして排泄の自立支援を図っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。	水分摂取量の記録、排便・排尿の回数等に注意しています。便秘の方には、水分補給や薬の服薬介助をするなどしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。	入浴時間は、決まった時間でしかできないので、一人一人の入浴時間をゆったりととり、楽しんでいただけるようにしています。	午後2時～4時頃を入浴時間としているが、状況により柔軟に対応されている。入浴に際して浴室と脱衣所、ロビーとの温度差を生じないように温度調整に細心の注意が払われている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>昼食後の昼寝・休息、夕食後はそれぞれの方に合わせています。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>薬の変更・病状の変化等を、申し送り、記録し、情報の共有をしています。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>洗濯ものをたたんでいただいたり、ボランティアさんと歌を歌ったり、ドライブで気分転換をはかる等、しています。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>周辺の散歩やドライブ、地域の行事への参加等、外出支援を行っています。</p>	<p>ホーム前の広いロータリーや近隣の人々に見守られての日常的な周辺の散歩、法人内の関連事業所の車両を使ってドライブに適宜出かけている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>家族と相談の上、支援しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	電話をかけたり、手紙を出されたりするように支援しています。		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	玄関周りや、居間のテーブルに季節の花を飾り、温かく、くつろげる雰囲気づくりをしています。畳の部屋もあり、自由に過ごせるようになっています。冬にはこたつで暖まれます。	里山のホームにふさわしく農家の母屋を模した設営に心が和む。都会では不可能な、広い敷地を縦横に活かしたロビーの広さ、周囲の山々が眺望できる幅広いまわり廊下、ロビーのほかに10畳程度の畳の部屋など和風に徹した設営が特徴の一つとなっている。	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	サンルームや和室で、ゆったりと過ごすことができます。		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	居室に、入居者が使い慣れた日用品や身の回りの物を持ちこまれ、居心地よく過ごせるよう工夫しています。	障子越しにやさしい陽射しが注ぐ、自然採光に留意した安らぎの空間を演出している。広い面積に和と洋を調和させ、入居者の活動を考慮したトイレ・洗面所を整備し、独立性が保たれている。介護度に応じた畳敷きの居室も準備されている。	
55		<p>○一人ひとりの方を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	建物全体がバリアフリー構造で手摺りも随所に設置しています。		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム サンハートホーム

作成日 平成25年2月28日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	入居者の方が興味ある物・出来る事が少しずつなくなりつつある。	少しでも維持できるように努める。	遊び・塗り絵・計算等利用者の得意な事を維持する。	6ヶ月
2		運営推進会議のメンバーがほとんど変わらない。	他の職種の方にも参加してもらう。	参加の声掛けをする。	3ヶ月
3		利用者や家族の意見・要望を積極的に聞いていない。	利用者・家族に意見・要望を聞く。	利用者には時折声掛けし、家族には来所時、意見・要望等ないか聞く。	6ヶ月
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。